

令和 8 年度 なんぷ～香房事業計画書

【就労継続支援（B型）事業】

第 1 基本方針

障がい福祉サービス事業所なんぷ～香房は、障がいのある方々が自身の能力を最大限に発揮し、地域社会の一員として積極的な参加ができるよう支援することを基本とし、ご利用者一人ひとりの障がい特性に十分配慮した、安心・安全な就労環境を整備し、個別のニーズに応じた柔軟かつ専門性の高い就労支援サービスの提供に努めます。

また、店舗のリニューアルから 3 年が経過し、これまでの生産就労環境の改善から工賃の増額が着実に進む中で増産体制の構築とコスト管理が今後の重要な課題となっております。こうした現状を踏まえ、今後は更なる生産能力の強化を進めるために効率的な作業体制の整備、ご利用者、職員双方の安定した労働力の確保に重点を置いた対応に努めます。更に、昨今の物価高騰などの社会情勢を考慮し、節減・節約の意識を事業所全体で共有し、商品構成や価格設定の見直し等を通じて、安定的かつ持続可能な事業体制の確立に向けた取組みを推進します。

つきましては、令和 8 年度の重点項目は以下のとおりとします。

1 個別支援の強化

利用者一人ひとりの特性や課題を丁寧に把握したうえで、アセスメントに基づく個別支援計画を策定し、支援内容の見直しと記録管理を徹底し、能力に応じた訓練と工賃向上に向けた取組を推進します。

2 工賃額の維持・向上

工賃向上計画に基づき、ご利用者の特性に応じた作業内容の見直しや生産工程の改善を行い、生産性の向上を図ります。また、新たな作業機会の創出や支援体制の強化に努めることで、月額平均工賃額を前年度実績以上となるよう各種就労事業の運営に努めます。

3 効率的な就労支援体制の構築

製造工程の見直しや設備の効率化により、作業負荷と負担のバランスを最適化します。さらに、AI 等の積極的な活用を通じて、業務全体の効率化と支援の質の向上を図り、持続可能な運営体制の構築に努めます。

4 出張所の整備

生産プロセス全体の効率化と資材・製品の品質維持を図ることと、安全性や衛生面に配慮し、新たに法人設置の特養ふくしあを転用し、有効に活用することで、資材等の保管場所として整備した出張所の開設をします。また、在庫管理体制の見直しも行い、作業環境の改善と安定した運用に努めます。

5 新規利用者の獲得

新規ご利用者の獲得に向け、地域連携のイベントや事業所説明会等へ積極的に参加し、利用希望者の状況を把握します。併せて、グループホーム等の他事業と連携し、生活住居の調整を行うことで、受け入れ体制を図ります。

6 20 周年記念事業の検討

なんぷ～香房は令和 9 年度に開設 20 周年を迎えることから、ご利用者の意見を取り入れながら、記念行事および記念旅行の実施に向けた検討を進めます。

第2 組織と利用者状況

1 組織の概要

ご利用者の障がい特性を踏まえたサービスと実践を進めるとともに、安定的な事業経営を遂行するために、次の組織体制で進めます。

(1) 総務係

総務係は、事業所運営の庶務、会計、施設管理を行い、ご利用者への間接的な支援と経営管理を行います。

(2) 地域・就労支援係

地域支援係は、地域生活者に対して、生活場面における支援を中心に質の高いサービスを提供します。就労係は、就労（実習）等のフォローアップや企業との調整等を行います。

(3) 生産係

生産係は、授産事業を通してご利用者のスキルアップや就労に対する意識向上が図れる様に支援を行うとともに、生產品の向上を図ります。

(4) 職員配置状況（令和8年 4 月 1 日現在）

区 分	所 長	サビ管	地域支援係 (生活支援員)	生産就労係 (職業支援員等)	パート (職業支援 員)	総務 (事務員)	計
男 性	1	(1)	3 (2)	7			1 1
女 性			4 (3)	4	5	1	1 4
計	1	(1)	7 (5)	1 1	5	1	2 5

※ () は兼務職員

2 会議、委員会等の体制

(1) 会議

次の会議を設置し、利用者支援のサービス向上に努めます。

- ・ 職員会議 (全職員)
- ・ 生産就労会議 (生産就労係担当職員)
- ・ ケース会議 (支援係職員)
- ・ 食事サービス会議 (支援係担当者、主任以上)
- ・ 役職者会議 (主任以上)

(2) 委員会

事業運営と環境等の維持のため、次の委員会を設置します。

- ・ 生活委員会 (支援係担当者・ご利用者)
- ・ 衛生管理委員会 (支援係担当者)
- ・ 防犯・防災対策委員会 //
- ・ 虐待防止委員会 //

(3) 研修事業

- ・ 施設内研修会 (随時)
- ・ 関係機関・団体・その他の研修参加 (随時)
- ・ 研究調査・ケース研究 (随時)
- ・ 施設外研修 (随時)

3 ご利用者の状況（令和8年4月1日現在）

（1）男女別状況

区 分	利用者数
男 性	22
女 性	20
計	42

（2）年齢別

区 分	～20 未満	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70 以上	最高 年齢	最少 年齢	平 均
男 性	0	2	4	4	3	5	4	78 歳	23 歳	52.8 歳
女 性	1	2	1	2	6	5	3	77 歳	19 歳	54.6 歳
計	1	4	5	6	9	10	7			53.7 歳

（3）障がい別

区 分	てんかん	自閉傾向	統 合 失調症	身 体 障がい	ダウン症	視 覚 障がい	聴 覚 障がい	内部疾患	体幹機能	強度行動 障がい	心因反応	その他
男 性	2		4				2		1			1
女 性	3	1	4	2								1
計	5	1	6	2			2		1			

（4）障害支援区分等（療育手帳）

区分	障がい程度				障害支援区分							合計
	A	B	無し	計	非該当	1	2	3	4	5	6	
男性	5	17		22	1	0	1	12	6	1	1	22
女性	4	16		20	1	0	1	10	5	2	1	20
計	9	33		42	2	0	2	22	11	3	2	42

第3 事業と運営方針

1 事業の内容

(1) 就労継続支援B型事業 定員35名 (現員数42名)

(2) 生産活動

製パン事業 レギュラーパン製造、災害備蓄用パン製造、焼菓子の製造、受託製造

珈琲焙煎事業 焙煎珈琲豆の製造販売、受託品販売

配食事業 宅配弁当事業、町社協配食事業受託

施設外実習 町内数ヵ所

2 利用者の活動時間 1日 6時間以内とする。

3 目標工賃額 1人当たり月額 昨年度以上 を目標とする。

4 運営方針

(1) 総務係

項 目	事業内容	具体的な内容
事業運営	健全な財政基盤と事業運営	障がい福祉サービスの基準を遵守し、訓練等給付費及び各種加算等の請求について適正に対応します。また、適正な予算執行、とリスク管理に努めることで持続的な事業運営を推進します。
	出張所の開設	近年の就労支援事業拡充に伴い、原料等の資材置き場が手狭になっている現状を踏まえ、法人特養ふくしあを有効に活用・整備し出張所として開設します。
	職員・ご利用者の健康管理と疾病予防	ご利用者には年2回、職員には年1回の定期健康診断または生活習慣病検診を実施し、異常があれば早期の受診勧奨を行います。また、ご利用者へ健康啓発や学習会を通じて、ご利用者の健康意識と予防への理解を深めます。
	防災・防犯体制の強化	ご利用者と職員の安全確保を最優先とし、防犯・防災に関する体制の強化を図ります。また非常時の対応マニュアルやBCPなどの見直しを行うとともに、定期的な避難訓練や防犯訓練を実施し、緊急時の対応力向上を目指します。また、防犯カメラや備蓄品の設置状況を点検し、必要に応じた改善を行うことで、日常の安心・安全な環境づくりに努めます。
	事業所の建物及び設備等の保全管理	建物や設備、備品等の破損や不具合に迅速に対応することで、ご利用者の就労支援環境の維持に努めます。また、修繕にあたっては、予算や事業の進捗状況を踏まえながら、計画的な補修・改修工事を実施し、安定した事業運営を推進します。 (主な事業) ・災害備蓄用パン工場のエアコン増設
	食事サービスの質の向上	ご利用者の健康維持と満足度の向上を目的に、栄養バランスに配慮した食事の提供体制を見直し、季節感や嗜好を反映した多様なメニューの提供に努めます。あわせて、食材の衛生管理や調理工程について業務委託業者と定期的に確認を行い、安全で安心な食事サービスの実現を図ります。
	20周年記念事業の検討	令和9年度、開設から20周年を迎えるにあたり、記念行事及び記念旅行について実施に向けた検討を行います。

(2) 地域支援係

地域支援	高齢ご利用者及び重度ご利用者への支援強化	高齢化や重度化が進むご利用者のニーズに的確に対応するため、心身の状況に応じた支援内容の見直しや職員の支援技術の向上を図ります。個別の生活リズムや体力に配慮した作業提供、安全確保などの整備を進めるとともに、医療機関等との連携強化を通じて、安心して継続利用できる支援体制の充実を目指します。
	意思決定支援と虐待防止の充実	ご利用者一人ひとりが自己選択・自己決定に基づいてサービスを利用できるよう、日常的な対話の積み重ねや職員の支援スキルの向上を図ります。個別の理解力や表現方法に応じた多様な意思表示の手段を活用し、選択肢の提示や確認プロセスを丁寧に行うことで、尊厳を尊重した支援体制の構築に努めます。

地域支援	感染症予防対策	衛生管理員会の開催や感染症マニュアル、BCP等を基により実践かつ効果的な感染予防対策を推進します。また、定期的に感染対策に必要な衛生用品の在庫確認と適正管理に努めます。
	家族会の事務局支援	家族会及びなんぷ〜香房並びにGHびあの事業が円滑に実施出来るよう家族会と緊密に連携を図りながら事業推進します。
	余暇活動支援の強化	ご利用者一人ひとりが年間を通して生きがいのある生活が送れるようご利用者の障がい特性や年齢に配慮した余暇支援プログラムを定期的に計画します。

(3) 生産就労係

就労支援サービス	多様化する利用者ニーズへの対応	就労支援サービスの提供にあたっては、個別支援計画に基づき、ご利用者一人ひとりの障がい特性、年齢、生活背景、就労経験、将来目標等を十分に把握した上で、丁寧な支援に努めます。
	就労支援スキルの強化	ご利用者の職業能力向上を目的として、体系的な学習機会の充実を図ります。作業技術の向上だけでなく、社会性や就労意識の醸成を含めた総合的な支援を推進します。
	施設外支援の充実	ご利用者の体調や精神面の変化を把握し、必要に応じて支援方法を調整します。また、課題が生じた場合は早期対応を図り、継続して施設外支援が受けられるよう支援体制を構築します。
工賃向上	収益構造の見直し	目標工賃額の達成に向けて、売上目標を明確に設定するとともに、原価率の分析や作業効率の検証、無駄のない在庫管理を徹底し安定的な工賃の支給を目指します。
	商品のブランド力の向上	現行商品の価格を精査し、適正な価格設定を行います。あわせて、高付加価値商品の開発を積極的に推進するとともに、パッケージやデザインの見直しを行い、商品の魅力とブランド力の向上に努めます。
	デジタル活用の推進	業務効率の向上および販売力強化を図るため、ICT、生成AI、SNS等のデジタル技術を積極的に導入し、持続可能な事業運営体制の構築を推進します。
衛生管理	衛生教育の充実	職員及びご利用者に対し、衛生研修を実施し衛生管理に関する正しい知識と意識の向上を図ります。また、手洗いや手指消毒の徹底、清潔な身だしなみの保持など、基本的な衛生習慣を確実に実践できるよう注意喚起や声掛けを行います。
	施設・設備の衛生環境整備	製造室等の衛生環境を常に良好な状態に保つため、衛生管理マニュアルを遵守し、担当者や実施時間を明確にしたうえで確実に実施します。清掃記録をモニタリングし、実施状況の確認と継続的な改善に努めます。
授産事業	製パン事業	地元食材を活用した地域密着型商品の開発を推進するとともに、既存商品の見直しを進め高品質な商品を提供することで、収益力とブランド力の向上を図ります。また、カフェスペースに適した商品の開発を進め、店内利用の促進と新たな顧客層の獲得を目指します。あわせて、増産体制の構築と担当職員の研修実施により、安定供給と品質向上に努めます。
	焼菓子事業	焼菓子のメニューについて、型や配合、分量等の見直しを行い、品質向上と原価管理の両立を図ります。あわせて、付加価値の高い新商品の開発を進め、商品力の強化に努めます。また、パッケージデザインの見直しを行い、商品の魅力向上とブランド力強化を図ります。さらに、外部委託先や取引先への積極的な営業・広報活動を行い、販路拡大と売上向上を目指します。
	珈琲焙煎事業	コーヒーマシンの稼働率向上を図るため、販売方法の見直しを行い、効率的な運用体制に努めます。また、季節を意識したドリンクメニューの導入など、飲料メニューの見直しを進め、客単価の向上とリピーターの確保を目指します。さらに、焙煎豆やドリップパック商品の販売強化を図り、物販収益の拡大にも取り組みます。
	配食事業	商品の宣伝や顧客の要望などを踏まえたメニュー提供など注文数の維持や向上に向けた取組みを継続的に行います。
地域貢献	地域公益活動の推進	地域貢献の推進を目的として、地域との交流機会を積極的に創出します。各種セールの実施やパン教室の開催を通じて、事業所の取り組みや商品の魅力を広く発信します。

別紙1

障がい福祉サービス事業所 なんぷ～香房・共同生活援助事業所ぴあ
令和8年度 年間主要行事予定計画書

月日	施設行事	地域行事 施設協会	保健衛生	その他(自治活動等)
4月	1日	辞令交付式・新年度体制・虐待防止合同研修会		
	11日		緑陽台歯科検診	
	14日～16日	なんぷ～香房 森のパン屋19周年記念セール		
	17日		前期健康診断	
	22日			WS総会
	25日			家族会総会
5月	3日	春季一時 帰省日		
	6日	春季一時 帰宅日		
	11日	春季外出 I		
	18日	春季外出 II		
	25日	春季外出 III		
	29日	胃がん検診		
	随時	各町内会花見、町民向けパン教室		
6月	1日	春季外出 III		
	8日	春季外出 IV		
	未定	普通救急救命講習	北・北海道知的協ソフトボール大会	
		合同防犯研修	全道知的協パークゴルフ大会	
7月	4日	第41回『スポ・レク交流会』		
	25日	第50回かなやま湖湖水祭り(見学)		
		道北施設協パークゴルフ大会		
8月	13日	夏季一時 帰省日		
	16日	夏季一時 帰宅日		
	日	合同花火大会(からまつ園前庭)		
	24日	秋季外出 I		
	31日	秋季外出 II		ご利用者学習会
9月	1日	防災訓練(炊き出し・地震想定訓練)		
	5日	令和8年度『大乗会ふれあいフェスタ』		
	7日	秋季外出 III		
	14日	秋季外出 IV		
	未定	道の駅感謝祭(協力) 道北スポーツ交流会		
10月	6日			
	21日		エキノコックス検診	
	23日		胃がん検診	
	29日～31日	ハロウィンセール		
	未定	なんぷ～香房ご利用者旅行 第1班	道北知的協卓球大会	後期健康診断(ご利用者のみ)
11月			感染症対策月間(3月まで)	安全運転月間(3月まで)
	10～12日		婦人科検診	
	未定	普通救急救命講習 なんぷ～香房ご利用者旅行 第2班	インフルエンザ予防接種 コロナウイルス予防接種	
12月	3～9日	『障がい者週間』普及啓発事業		
	6日	障がい者週間パン教室		
	8日、9日	障がい者週間記念セール		
	16日			WS主催クリスマス会
	22日～25日	クリスマスケーキ販売		
	31日	年越し忘年会(各GH) 冬期一時帰省 帰省日		WS年越し忘年会(各GH)
1月	1日	新年交流会(各GH)		WS新年交流会(各GH)
	3日	冬期一時帰省 帰宅日		
	未定	各町内会新年会		
2月	12日～14日	バレンタインデーセール		
	未定	法人研究発表会	あーと展	
3月	2日～3日	ひなまつりケーキ販売		
	未定	シルバー外出		
	未定	防災訓練(雪害想定訓練)		
その他	年間	避難訓練(火災:年2回以上、防災:年2回以上)		
	毎月			ご利用者の希望行事
	随時	パン教室、余暇活動	その他町内会行事	

※ 一時帰省は、新型コロナウイルス感染症の状況等により日程を変更する場合があります。
 ※ 開催日程は、変更が生じる場合があります。

